

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------|----|---------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス 青空つばさ | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 10月 1日 | | 2025年 11月 30日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 20 | (回答者数) 8 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 10月 1日 | | 2025年 11月 30日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 4 | (回答者数) 4 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 12月 22日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--------------------------------|
| 1 | 中高生に特化した支援方法や思春期に対応した支援 | 子どもたちの心情に寄り添い、言葉にできない気持ちを汲み取れるように心掛けている。 | 思春期の心の揺れや中高生特有の支援方法などの研修を行いたい。 |
| 2 | 保護者対応力 | 日頃から変化に敏感になるよう心掛けて、気になる所は積極的に保護者さんに声掛け、交流を意識している。 | 今後も少しの変化も敏感に察知できるよう努めていきたい |
| 3 | 地域との交流や近隣住民との共存 | 地域の方々に伝統的な行事に使う物の製作を一緒に行ったり、近隣にある地域の花壇の整備などを行っている。 | 今後も機会を増やしていきたい。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|-----------------------|---|
| 1 | 支援プログラム作成や支援計画作成や見直し等、根幹となる所の共通認識が弱い | 話し合いの機会が少なくなってきた。 | 利用児に寄り添った支援を忘れずに、支援目標や次に進む為の目標作りができる時間と環境の設定に心掛けていく |
| 2 | 保護者対応力 | どうしても管理者任せになっている事が多い。 | 対応力の向上のための研修などに参加していきたい。 |
| 3 | | | |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス 青空つばさ

公表日 2026年2月4日

利用児童数

20

回収数

8

| | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--------------------------------------|---|----|---------------|-----|-------|-----|--|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 5 | 3 | 0 | 0 | | ・利用人数が多い日は狭く感じる時があるが、外活動をしたりと活動を分け、密にならないように工夫している。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 7 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 7 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 7 | 0 | 0 | 1 | | 各部屋を子どもたちが過ごしたい空間（したい活動ができる場所）になるようにしている。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 8 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 6 | 1 | 0 | 1 | | ホームページに記載されているが、面談の際に提示するなどの工夫を行っている。 |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 8 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 7 | 0 | 0 | 1 | | 新しく設定が行われてからご存じない方もおられるので、学習会などで説明していく。 |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 8 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 7 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 6 | 1 | 0 | 1 | | ・以前は近隣の中学校との交流があったが、コロナ感染予防の為延期してから行えていない。今後、社会の情勢をみて計画していきたい。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 6 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 7 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 6 | 1 | 0 | 1 | | 研修会や家族支援プログラムの機会が少ない為、出来る限り増やしていく。 |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。 | 8 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 6 | 2 | 0 | 0 | | 問題発生時や気になる事があった際、個別に相談の機会を持つ。 |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 8 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 7 | 0 | 0 | 1 | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|---|---|--|---|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 8 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 8 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 7 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 7 | 0 | 0 | 1 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 5 | 1 | 0 | 2 | | 避難場所・緊急時の対応における、案内文や説明会でも案内を徹底させる必要がある。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 5 | 1 | 0 | 2 | | 定期的な避難訓練は行っているが、学校並みの訓練までは行っていない。今後は拡声器でのサイレンなどを用いてももう少し本格的に行ってきたい。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 6 | 1 | 0 | 1 | | 置き去り防止装置や監視カメラなど保護者の方々に周知できるようにする |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 7 | 0 | 0 | 1 | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 8 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 8 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 8 | 0 | 0 | 0 | | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 放課後等デイサービス 青空つばさ | | 公表日 2026/2/4 | | |
|---------|----|--|-------|--------------|--------------------------------|---|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 4 | 0 | 外での活動やくまの子教室をお借りしている。 | 活動場所の確保に、保育道具などは整理整頓して収納し、活動スペースを確保する必要がある。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 4 | 0 | 配置基準より多く配置しています。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 1 | 3 | 玄関に簡易スロープや手すりなどを設置している。 | 状況に応じて今後も対応していきたい。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 2 | 2 | | 子ども達が製作した作品などを壁面などに展示し、自分たちの居場所と感じられるように今後も継続して行っていきたい。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 3 | 1 | | 今後も子どもの心情の変化に対し柔軟に対応し過ごしやすい空間を提供していく。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 3 | 1 | | ポイントは抑えているがもう少し細かく伝えていく必要がある。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 3 | 1 | 公表している | ご意見を頂いた項目は職員全体で周知し、今後の改善に努めたい。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 3 | 1 | | 個別面談などを実施し、個人の意見を把握する機会を増やしていく。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 0 | 4 | 未実施 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 3 | 1 | 研修の情報などは全職員に提供している。 | 人間発達講座など研修の機会を提供し、個別での研修も受けれる様に対応している。 |
| 適切な支援の提 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 4 | 0 | 公表している | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 4 | 0 | 保護者の方々と面談を行い、ニーズや課題を双方で確認している。 | 今後も継続して行っていく。 |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 3 | 1 | | 全職員に周知できていない場合があるので、改善していく。 |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 3 | 1 | 次月の予定や長期休暇などの予定を職員全体で確認している。 | 定期的な会議の開催と、業務終了後の雑談の場を今後も大切にしていきたい。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | #スピル! | 1 | | 標準化ツールではないが事業所独自のツールを使い実施している。 |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 4 | 0 | 土曜日や長期休暇でしかできない特別な活動を取り入れている。 | 少し難しい課題や時間をかけて行う課題などを積極的に取り入れていきたい。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 3 | 1 | | 日々見直しを行いながら、活動計画を作成していく。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 3 | 1 | 同じ様な行事でも少しアレンジを加え、楽しめるようにしている。 | いろいろな所からの情報収集に努め、楽しい活動を提供できるようにしていきたい |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---------------------------------------|---|
| 供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 3 | 1 | | 日々見直しを行いながら、活動計画を作成していく。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 3 | 1 | 個人記録を記載し、今後活用できるように今後もしていきます。 | 臨時職員と細かな打ち合わせをより行っていくようにする。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 3 | 1 | | 反省や改善点などの意見交換を今後もしていく |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 4 | 0 | 個人記録を記載し、今後活用できるように今後もしていきます。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 3 | 1 | | 相談支援員と連携を強化し、全職員に周知していきます。 |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。 | 3 | 1 | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 3 | 1 | できるだけ子どもの意見を聞き、自分で活動を決められるようにしている | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 4 | 0 | 自発管や直接支援している指導員が積極的に参加している。 | 今後も関係機関と連携し、ケース会議が必要と思われた場合は積極的に参画していく。 |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 4 | 0 | | 今後も関係機関と連携し、ケース会議が必要と思われた場合は積極的に参画していく。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 4 | 0 | 積極的に担任と連絡を密に取り合うようにしています。 | 支援学校とは毎日連絡や引継ぎを行えているが、地域の学校とは難しい場合があるので、改善していく。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 4 | 0 | 法人内の各事業所と連携、展開を行っています。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 4 | 0 | 現在連絡があった場合は同意の上、情報提供を行っています。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 0 | 4 | 法人内の各事業所と連携、展開を行っています。 | より多くの参加機会が出来るように進めていきます。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 3 | | より多くの参加機会が出来るように進めていきます。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 4 | 0 | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 4 | 0 | 送迎時や連絡帳にて共有が出来るようにしています。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 3 | 1 | | より多くの参加機会が出来るように進めていきます。 |
| 保護者への | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 4 | 0 | 年に一回の説明会を開催しています。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 4 | 0 | アセスメントや面談の際に意見や思いを確認する機会を設けている。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 4 | 0 | アセスメントや面談の際に説明し、同意を得ている。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 4 | 0 | 随時相談に応じている。必要な場合は関係部署と連携を図り、支援を行っている。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | 4 | 0 | | 年度末に保護者会を開催予定です。保護者の方が参加しやすい日時などを検討していく必要がある。 |

| | | | | | | |
|---------|--|---|---|----------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 説明等 | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 4 | 0 | | 研修などを行い、苦情があった場合の適切な対応ができるようにしていきたい。 |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 4 | 0 | 月に一度のお便りと年に3回の法人全体の通信・SNSなどで情報を出している。 | 今後も時事ネタを発信できるようにしていきたい。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 4 | 0 | 書類等は許可がない限り持ち出さないように指導しています。 | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 4 | 0 | 文章や口頭での対応を行い、丁寧な対応を心掛けている。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 3 | 1 | 今年度は一度地域の方々にしめ縄を教えて頂いた。 | 地域の花壇の手入れなど今後も積極的に行っていく。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 4 | 0 | 個別支援計画に記載している。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 4 | 0 | 定期的に行っている。 | 定期的な避難訓練は行っているが、学校並みの訓練までは行えていない。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 4 | 0 | 保護者より年度初めに情報を頂き、職員全体で周知している。 | 今後出来る限り指示書を頂く様にしていく。 |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 4 | 0 | 保護者より年度初めに情報を頂き、職員全体で周知している。 | 今後出来る限り指示書を頂く様にしていく。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 4 | 0 | | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 4 | 0 | 置き去り防止装置や監視カメラなどを設置している | 保護者の方々に周知できるようにする |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 4 | 0 | | 事例集はあるが、活用できていない。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 4 | 0 | 虐待チェックリストを年に3回行っている。 | 虐待研修を年に一回行い、周知徹底を行っている。 |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 4 | 0 | 個別支援計画に記載している。 | | |